

地方都市における大企業 OB の主観的幸福感

— 社会参加と社会関係の影響 —

古谷野 亘, 西村 昌記, 矢部 拓也, 高木 恒一, 浅川 達人, 安藤 孝敏

第 45 回日本老年社会科学大会一般報告, 2003.6.

【目的】 社会的に孤立しがちであるといわれる企業退職高齢者（サラリーマン OB）において社会参加と社会関係の豊かさが幸福な老いに及ぼしている影響について検討することを目的に、地方都市の男性高齢者のデータを分析した。

【方法】 調査は、2001 年 5～6 月に、訪問面接法により実施された。調査対象者は、岐阜県中津川市に居住する 60～79 歳の高齢者のうち無作為に抽出された 1,000 名（一般）と、同市にある M 社中津川製作所の退職者（OB）478 名であった。有効回収率は一般で 79.1%、OB では 88.1%であった。本報告では、60～79 歳の男性高齢者 686 名（一般 370 名、OB 316 名）のみを分析対象とした。

幸福な老いの指標には生活満足度尺度 K の合計得点を用いた。分析は階層的重回帰分析によって行い、第 I ステップで回答者の基本属性、第 II ステップで社会参加と社会関係の指標を独立変数に加えた。社会参加の指標には地域の共同作業、ボランティア活動等の 4 変数を用い、社会関係の指標には「一緒にいてほっとする人」の数を用いた。

【結果】 生活満足度の得点（9 点満点）の平均値は、一般（4.99）より OB（5.47）で有意に高かった。また、OB の生活機能、夫婦年収、社会参加の指標、「一緒にいてほっとする人」の平均値は、一般より有意に大きかった。

生活満足度の平均値にみられる一般と OB の間の差は、重回帰分析の第 I ステップでは消失しなかったが、第 II ステップで

は統計的有意水準に達しなかった。一般・OB 両群の独立変数の平均値に第 II ステップで得られた偏回帰係数を乗じて加算したところ、生活満足度の平均値の差のおよそ 50%が生活機能、夫婦年収、「一緒にいてほっとする人」の数、そしてボランティア活動への参加の差によって説明されることが明らかになった。

【考察】 M 社中津川製作所の OB の場合、同製作所での勤務経験は退職後の社会関係を豊かにすると同時に、在職中のボランティア活動の経験を通して退職後の社会参加を豊かにしている。そして、社会参加と社会関係の豊かさが、主観的幸福感の高さに寄与しているものと考えられる。

階層的重回帰分析の結果（β）

	I	II	r
一般 / OB	.084*	.063	.120**
年齢	.010	.011	-.064*
生活機能	.279**	.226**	.321**
学歴（教育年数）	.011	.008	.101**
最長職威信スコア	-.003	-.006	.071
夫婦年収	.119**	.109*	.201**
現職の有無	.028	.019	.099**
配偶者の有無	.003	-.009	.036
同居既婚子の有無	.035	.036	.001
「ほっとする人」の数		.090*	.205**
近所の共同作業		.014	.167**
ボランティア活動		.079*	.171**
共同募金		.038	.123**
氏神の祭礼		.046	.143**
R	.356**	.386**	
ΔR ²		.022**	

* $p < .05$, ** $p < .01$.

地方都市における大企業OBの 主観的幸福感

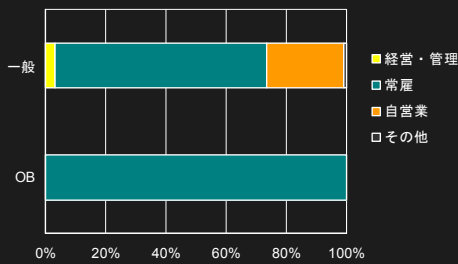
社会参加と社会関係の影響

古谷野 亘, 西村 昌記, 矢部 拓也, 高木 恒一
浅川 達人, 安藤 孝敏

方法

- 一般高齢者調査は、中津川市の60歳~79歳の在宅高齢者1,000名を対象として、2001年5~6月に訪問面接法により実施され、791名から有効回答を得た（回収率 79.1%）。
- OB調査は、M社中津川製作所OB 478名を対象として、一般高齢者調査と同時期に同一の方法によって実施され、421名から有効回答を得た（回収率 88.1%）。
- 両調査の回答者のうち、60歳~79歳の男性 686名（一般 370名とOB 316名）を分析対象とした。

主 職

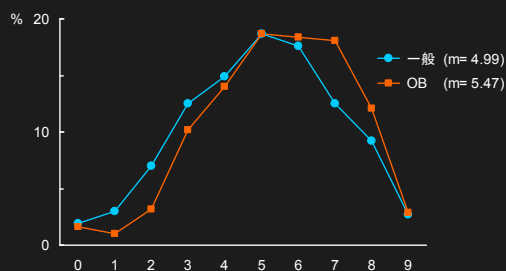


基本属性の比較 (平均値)

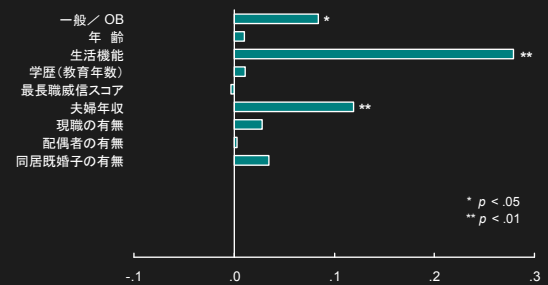
	一 般	O B	差
■ 年 齢	68.49	69.35	*
■ 生活機能	11.52	12.00	**
■ 学歴	9.75	9.54	
■ 最長職威信スコア	50.86	49.70	*
■ 夫婦年取	6.01	6.30	**
■ 現職の有無 (→有)	0.49	0.33	**
■ 配偶者の有無 (→有)	0.93	0.93	
■ 同居既婚子の有無 (→有)	0.35	0.25	**

* $p < .05$
** $p < .01$

生活満足度得点の比較

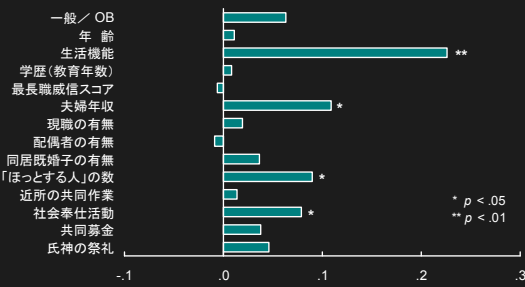


生活満足度の関連要因 (β) 第1ステップ

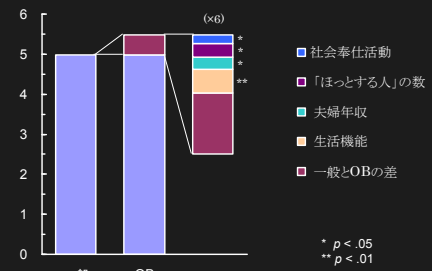


* $p < .05$
** $p < .01$

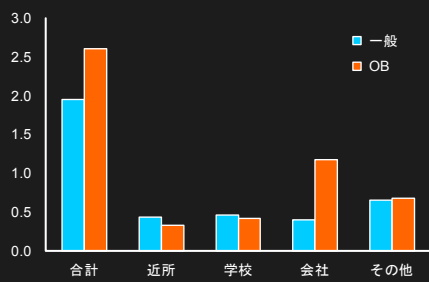
生活満足度の関連要因 (β) 第2ステップ



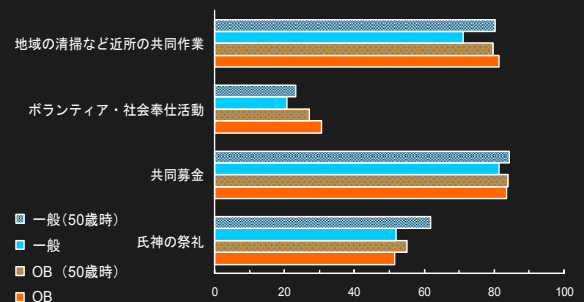
生活満足度の平均値の差



「ほっとする人」の平均 知り合ったきっかけ別



社会参加の比較 いつも参加している人の割合



まとめ

- M社中津川製作所OBの場合、工場勤務は他者と知り合う契機となり、退職後の社会関係を豊かにしている。
- 工場勤務は、地域での社会参加を減少させず、むしろ在職中のボランティア活動の経験等を通して、退職後の社会参加を豊かにしている。
- 社会参加と社会関係の豊かさが、OBの主観的幸福感の高さに寄与している。